

議事概要記録

開催日時	平成 25 年 9 月 29 日 10 時 00 分～12 時 00 分	開催場所	和歌山県立医科大学附属 病院中検技師控室
会議種別	平成 25 年度 第 4 回理事会	議長	竹中 正人
		書記	田中 規仁
出席者 〈敬称略〉	玉置 達紀、竹中 正人、畑 忠良、大石 博晃、木下 博之、田中 規仁、 蓬台 克之、丸澤 佳子、田中 久晴、瀧口 良重、今西 数彦、瀧谷 雅彦、 脇村 小津江、 村田 正吾、勝山 浩樹 15名		
欠席者 〈敬称略〉	栗林 伴有、須賀 洋、	オブザーバー	石田 茂己 (35 回和学会実行委員長)
次 第			
議事概要	<p>報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 会長報告</li> <li>2. 第 35 回和歌山県医学検査学会進捗報告と審議</li> <li>3. 経理部報告</li> <li>4. 第 3 回常務理事会報告 (兼) 表彰審査委員会報告</li> <li>5. 事務局報告</li> <li>6. 学術部報告</li> <li>7. 各種委員会報告 (ア) 公益事業活動 (イ) 定款・渉外 (ウ) 精度管理 (エ) データ標準化 (オ) 会誌編集 (カ) ホームページ (キ) 会報・行事予定</li> <li>8. 連盟</li> <li>9. その他</li> </ol> <p>審議事項(届け出順)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 表彰審査委員会から</li> <li>2. 精度管理委員会から</li> <li>3. 事務局から</li> <li>4. 行事予定から</li> <li>5. 病院協会学術大会と世界エイズデー2013 in 和歌山(和大祭) の派遣について</li> <li>6. その他</li> </ol>		
決議事項 及び 継続事項	<p>冒頭に、会長より挨拶があった。</p> <p><b>報告事項</b></p> <p>会長報告 日臨技関連について、9 月 6 日都道府県会長宛てに認定心電技師に関する最終通達があった。 日本心電学会(9 月) から会員への文書による通達に対する抗議と、該当文書の破棄依頼があった。また、第 7 回認定心電検査技師の実施要項の案内について、受験資格に日臨技会員と日本心電学会会員である事について近畿支部を通して抗議した。 日臨技について、24 年度の決算報告について説明があった。 県病院協会への会議が 2 回あった。 和歌山県医務課より、医療従事功労者賞(新設)に関する説明があった。</p>		

### 第 35 回和歌山県医学検査学会報告（石田実行委員長）

当初予定していた会場（熊野の宿 椰）から、利便性を考慮し、ホテル浦島に変更の報告があった。

学会テーマについては「みちしるべ」、学会テーマにちなんだ特別講演を「八咫鳥」（八咫鳥は神武天皇を導いたという言い伝えにより）についてを山本殖生先生から、教育講演については「検査室で使われる化学物質について」（仮題）を藤田保健衛生検査部の平澤浩先生より講演頂く報告があった。

ランチョンはオーソに交渉中との報告であった。

学会期日までのスケジュールについては概ね承認を得たが、発表用パワーポイントの事前提出（2月21日必着）は、前日・当日受付に変更となった。会場スクリーンが小さい（2M×3M）ので、対応する事となった。

学会参加費は1,000円とする。

学会期日のタイムスケジュールについて大筋承認を得た。

企業広告については、前年度実績があるところを中心に再度お願いをする事、学会予算書も早急に作成する事となった。

### 経理部報告

特になし

### 常務会報告

医療従事功労者賞が新設された。村田前会長を推薦した。

<経緯>昨年度の和歌山県知事表彰については村田前会長を推薦したが落選した。

今年度の知事感謝状について、村田前会長を推薦した。しかし、推薦後に知事表彰同格の医療従事功労者賞が新設され、推薦依頼があったため、急きょ村田氏の知事感謝推薦を取り下げ、医療従事功労者賞への推薦に変更した。なお、一度取り下げた今年度の知事感謝状については勝山監事を再推薦した。

その他については常務会議事録参照の事。

### 事務局報告

医療セミナー in わかやま 県・市・8団体 後援名義使用依頼を行い、全団体から使用許可の返答がありました。

平成25年度、厚生労働省主催の感染対策講習会については、済生会和歌山病院の久保主任技師を、和歌山県を通じて推薦しました。

平成25年度公立大学法人和歌山県立医科大学 医学振興会記念助成事業申請について和臨技3事業を申請した。

日臨技事業、検査説明・相談ができる臨床検査技師育成企画担当者講習会の会員派遣要請については、竹中副会長を推薦しました。

台風18号による豪雨被害について報告はなし。

### 学術部報告

平成25年度目臨技近畿支部医学検査学会の一般演題座長について、臨床化学：堀端伸行、生理機能：大谷美樹・森井眞治、一般：則藤佳子、微生物：口広智一、病理細胞：鍵弥朋子、免疫血清：中尾光孝、輸血：森井耕治が担当します。

学術部勉強会中止について、台風15号の影響により2つの勉強会が中止（延期）した

第2回微生物班研修会 8月31日（土）→12月14日（土）

第3回生理機能検査班勉強会 9月1日（日）→未定

中止（延期）については、前日までに和臨技ホームページとメーリングリストで連絡した。

日臨技推進事業収支報告書について、目臨技事務局 神山さんより「今年度も支出の実費に関わらず収支を¥0にあわせてください」との連絡があった。今後提出する報告書は全て収支¥0で報告します。

### 各種委員会

#### 公益事業活動について

ピンクリボン in わかやま（紀北）から

当日のスケジュール提示があった。和臨技ブースにて、乳房触診の体験を来場者にして頂きます。配布封筒に和臨技事業の広告（医療セミナーin 和歌山等のチラシ）を入れます。

医療セミナーin 和歌山から

11月16日13時から。14時から他団体が会場使用のため、16時には完全撤収が必要です。

開場前の廊下にて検査展を同時開催します。ポスターデザインについて、若干の変更の指示があった（検査展開催のコマを挿入し、併用する）。

世界エイズデー2013in 和歌山について

11月23日の和太祭で行います。今年度はVCTの採血と検査およびミニ講演会「いきなりエイズ」—あなたの元カノの元カレを知っていますか—をのみで、VCTの勧誘はしません。講師陣はHIVエドゥケーター講習会受講生が行います。

#### 定款

特になし

#### 精度管理について

和臨技サーベイ、各部門から手順書が出そろい。10月18日にサーベイ手順書を配布予定です。再サーベイの費用を算出し、見込みで4,000円弱。

再サーベイについては手作り試料を用いる部門が多いため、母集団から離れた評価になる。よって、再サーベイ必須施設に関しては原因の調査と対策からなる是正報告書（所属長名）を提出してもらい、是正処置報告書を精度管理委員会より答申して判断を仰ぐ形を取りたいとの申し入れがあった。

#### データ標準化

基幹病院から日臨技への報告は10月末で完了予定です。

精度保証認証施設については2か年連続日臨技サーベイ90点以上施設が和歌山県下で14施設あるので、積極的な申請をお願いします。

#### 会誌編集

11月30日の締め切りで募集しております。例年より早いので投稿の広報については、各理事の協力をお願いします。

#### ホームページ

特になし

#### 会報

いろんな行事が控えているので、各担当理事は報告書の投稿をお願いします。

#### 行事予定

広告がなかなか集まらないとの報告があった。以下2案を提案があった。次回理事会までに各自考える事となった。

1案：12社限定広告別刷りを作成する。また申し込んで頂いた12社に対しては広告物（新製品等）・メーカー勉強会の折り込みを行事予定表と一緒に入れることを可能とする。条件としては仮に広告用紙はA4とし年間3回までとする。

2案：12社に限らず公平性を保つ意味で、年間費3000円程度で現行賛助会54社に広告物（新製品等）・メーカー勉強会の折り込みを行事予定表と一緒に入れることを可能とする。条件としては仮に広告用紙はA4とし年間3回までとする。

次回理事会まで、継続審議となった。

連盟

和歌山は54名とちょっと減っています。

その他

○和歌山県糖尿病指導療養セミナーin那智勝浦での後援名義使用依頼と生涯教育履修が出来るようにお願いします。

○第9回アジア研修が無事終了しました。参加者からの評価も概ねよかったです(学生が多かったので、精度管理の講義は若干難しかったです)。

○病院協会のプログラム委員会について、和臨技からは1演題のみのエントリーであった。次年度こそは最低5演題のエントリーを義務化したい。

○平成25年度近畿支部医学検査学会(第53回)で21世紀を担う臨床検査技師実践セミナー(チーム医療セミナー)があります。

審議事項

事務局より全国検査と健康展について

フルカラーポスター作製(幅90cm×高さ150~180cm任意サイズ)を具申します。内容は①和臨技事業(公益・生涯教育・精度管理の3本柱と和臨技の紹介)を1枚、②健康展なので、健康に関するトピックスの物を1つ、③医療安全に関係した物を1つ作成予定です。学術部とも相談しながら進めてまいりたいと思います。

医療セミナー会場の入り口廊下にそって、企業ブースの様なスタイルを考えております。

学術部より

緊急時、災害時連絡について

災害等による学術活動の中止・延期については、各班長からの中止意思表示後、学術部長を通じ会長による緊急判断として広報する。周知方法については、和臨技ホームページとメーリングリストとする。

ホームページへの情報掲示について

正規のルートを通してホームページにアップする事となった。

病院協会学術大会について

生涯教育履修は自己申告で行う事となった。一般演題エントリーについて、和臨技から5演題(1セッション)以上をエントリーする努力(努力義務)する。

アジア研修について

アジア研修は第9回でもって終了する考えだったが、広島県臨床検査技師会・岡山県臨床検査技師会との共催が現実的なことにより若干の予算が得られる可能性があること、大阪コミュニティ財団に申請し助成が認められれば、第10回も行うことが出来るめどが立った。よって、和臨技の正式事業ではないが財団申請等に和臨技の名称使用を承認いただきたい。

記録作成	平成25年10月14日	氏名	田中 規仁	提出	平成25年10月15日
------	-------------	----	-------	----	-------------

※ 諮問委員会で「報告書」が提出される場合、「委員会議事録」が別途作成添付される場合は添付資料で可